

令和3年度

中学校ブロック毎 ジョイントプラン 構想図



- | | |
|--------------|---------------------|
| 1 宇治中学校ブロック | 6 南宇治中ブロック |
| 2 北宇治中学校ブロック | 7 広野中学校ブロック |
| 3 槇島中学校ブロック | 8 東宇治中学校ブロック |
| 4 西小倉中学校ブロック | 9 木幡中学校ブロック |
| 5 西宇治中学校ブロック | 10 黄檗中学校ブロック（施設一体型） |

令和3年4月

宇治市教育委員会

令和3年度 宇治中学校ブロックジョイントプラン 構想図

ー宇治中・菟道小・菟道第二小ー

教育目標・めざす子ども像

ブロック小中一貫教育目標

ふるさと宇治を愛し、みらいを展望し、たくましく生きる児童生徒の育成

めざす児童生徒像

ア とともに学び、考える児童生徒

イ たくましく生きる児童生徒

ウ 笑顔を大切にする児童生徒

本年度の目標・推進の方向性（重点）

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善に取り組み、児童生徒の更なる学力向上に努める。
- (2) 人権教育部において、菟道小学校での同和問題に係る直接学習の参観等を通して、教職員の人権意識を高めることで、児童生徒の人権意識を向上させる。
- (3) 小学生が中学校の部活動を体験できる取組を継続していく。
- (4) 宇治中学校ブロックの全教職員が、各教科部の取組の進捗状況を共通理解するため、合同研修会終了の度に「合同研修会のまとめ」を発行し、職員会議等で各部からの報告を行う。
- (5) 保護者・地域へのより一層の啓発を図るため、小中一貫教育の取組について報道連絡をしたりホームページや学校だよりで紹介したりする。
- (6) 「中学校入学時の定期テスト等に対する児童の不安」の軽減に向けた取組を推進する。

中学校ブロックの本年度の取組

☆系統的・継続的な学習指導に関わって

- ・授業づくり部（国語・算数等）の9つの教科部会において、やましろ授業スタンダードを活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を小・中学校教員が協働して進める。
- ・アクションプランを具体化する取組として、中学年の2つの標準テストの分析を行うことでPDCAサイクルを機能させ、低学年の学習内容のつまづきを具体化し、指導改善を進め、学力未定着層の学力回復を図る。

☆生徒指導の充実に関わって

- ・各校児童生徒の様子交流については、必要に応じてコーディネーター間で調整し、実施する。

☆特色ある教育活動の展開に関わって

- ・これまで行ってきた交流活動（クラブフェスティバル、駅伝合同練習、鼓隊クラブ・吹奏楽部合同練習）の内容を精査しながら、各校コーディネーター間で調整し、実施していく。

☆家庭・地域との連携に関わって

- ・小中一貫教育校だより（F U T T）や学校だより、ホームページ等を積極的に活用しながら小中一貫の取組を紹介する。
- ・児童生徒が主体的に家庭学習に取り組める環境の構築に向けた取組を進める。
- ・中学校教員が6年生児童に対して、中学校の「定期テスト」に対してどのように学習すればよいかを話をしたりする機会を設ける。
- ・義務教育9年間を見通した家庭学習の手引きを作成し、配布。

☆推進体制の充実と改善（ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載）

- ・小中一貫教育推進に係る企画と立案を行い、小中学校と協力して学習計画の円滑化と管理調整を行う。

令和3年度 北宇治中学校ブロックジョイントプラン 構想図

ー北宇治中・小倉小・北小倉小ー

教育目標・めざす子ども像

教育目標「学力の向上を目指し、多角的に小中の連携を進める」

（目指す子ども像）・自ら考え、自発的に表現できる子（知）

・人と地域とのつながりの中で豊かな心を育て、他を大切にする子

（徳）

・運動に親しむことにより、楽しく生活できる子（体）

本年度の目標・推進の方向性（重点）

（１）小中学校の教員が連携して学力の向上を図る。

・学力向上のための方策を研究する（小中一貫の視点から、具体的方策を探り実践していく）

（２）学力部を中心に、小中一貫教育を推進する組織力を向上させる。

（３）保護者や地域住民などに、積極的に小中一貫教育の取組や成果等を発信する。

中学校ブロックの本年度の取組

☆系統的・継続的な学習指導に関わって

◎9年間を見通した学習指導を研究

①学力部係会

・学力分析係、授業改善係、道徳係、

外国語（英語）係、特支・教相係、

児童

・生徒支援係

☆生徒指導の充実に関わって

（特支・教相係）（児童・生徒支援係）

・対象児童・生徒に対する有効な方策やアプローチ方法を示していく。

・小学校、中学校それぞれの児童・生徒の実態交流をより細かく行い、一貫して連携を図っていく。

☆特色ある教育活動の展開に関わって

①学力部各係会による多様な観点からの学力向上への取組

②学力の実態把握と分析

③（可能なら）授業参観による各校の実態把握

④児童・生徒の交流

⑤（可能なら）職場体験実施による小中の交流

☆家庭・地域との連携に関わって

①小中一貫教育ニュースの発行

・原則、学期に1回程度発行し、活動内容を保護者・地域に紹介

②家庭学習の取組

・※「家庭学習の手引き」などを活用し、保護者や地域の協力を得ながら、家庭学習の定着を図る。（※各校、HPに記載）

・宿題や家庭学習ノートなどを配布し、自学自習を促し、適切な評価につなげる。

☆推進体制の充実と改善（ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載）

・企画会議（校長・教頭・コーディネーター）を中心に原案を練り、それに基づいて各係が具体的な動きを作り、小中一貫教育を推進する。

・コーディネーター会議を必要に応じて開き、調整する。

・各係会における「顧問」の設置（各小中学校長・教頭が担当）

・学力部会に小中の全教員が所属する。

・学力部各係会で各校1名の代表者を決め、中心となって部会運営を行う。

令和3年度 横島中学校ブロックジョイントプラン 構想図
ー横島中・横島小・北横島小ー

教育目標・めざす子ども像

ブロック小中一貫教育目標

「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」

めざす子ども像

○心身共に健康で、明るく活動する子

本年度の目標・推進の方向性（重点）

【横島中学校ブロック研究テーマ】

「家庭学習・授業・ふり返りの効果的なつなぎを目指した授業改善を行い、学力向上に取り組む」

【推進の概要】

授業と家庭学習、ふり返りを効果的に繋ぎながら、切れ目のない学習サイクルを通して、主体的に学びに向かう力を向上させ、基礎・基本を定着させるための授業改善に向けた研究・研修を進めていく。

中学校ブロックの本年度の取組

☆系統的・継続的な学習指導に関わって

- ・山城スタンダードを基本とし、家庭学習と授業、ふり返りを効果的に繋ぐ授業スタイルを作成し、実践する。
- ・授業づくり部会を中心に、授業研を行い、効果的な家庭学習について研修を進める。
- ・国語部会を中心に、「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」を推進していく。

☆生徒指導の充実に関わって

- ・特別活動部会を中心に、中学校体験や服のチカラプロジェクトなどの行事を通して、児童・生徒の繋がり作りや居場所作りをすすめる。
- ・小中の接続をスムーズに行えるよう、教科連携教員（英語）やラーニングコーディネーターが、小学校の授業に関わる。
- ・生徒指導部会を中心に、児童・生徒理解を進めるため、緊密な連携を図る。

☆特色ある教育活動の展開に関わって

- ・中学校ブロックの児童生徒の代表絵画作品を3校および地域にも巡回展示する。
- ・ブロックの小中学校の生徒会・児童会を中心に、ユニクロの古着回収の活動を行う。
- ・zoom や動画等を使用し、コロナ禍であっても、連携できるような方策を考えていく。

☆家庭・地域との連携に関わって

- ・小中一貫教育便り「マキシマム」の継続発行（保護者配布・地域回覧）やHPへの掲載、取組等の広報や校内掲示等を行い、小中一貫教育の取組や研究を積極的に情報発信する。
- ・学校・地域行事で、児童生徒が共に活動したり、交流したりする場面や小中一貫教育の成果を発揮する場面を設定する。

☆推進体制の充実と改善（ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載）

- 小中一貫教育の取り組みや各部の研究実践を推進する。
- ブロック校長会、教頭会、コーディネーター会議を定期的開催し、ブロックの課題解決に努める。
- OLC による週一回の各校視察を通して、ブロックの生徒理解に努め、目指すべき学力観を共有する。

令和3年度

西小倉中学校ブロック (西小倉中・西小倉小・南小倉小)

ジョイントプラン構想図

本年度の取組

教育目標

めざす子ども像

小中9年間を通して地域と共に子どもたちのゆたかな心と確かな学力をはぐくむ

- ・自分の考えを 豊かな表現力で伝え合う子
- ・地域とつながり 思いやりの心を大切にする子
- ・健康に気をつけ 自らの目標に向かってがんばる子

本年度の目標・推進の方向性(重点)

【目標】

学力とともに生徒指導面（とくに登校しづりや不登校児童、生徒への対応）での交流を実現することで目指す児童、生徒像をより具体化・焦点化し、その実現に向けた取組を進める。

【推進の概要】

- ①教員の研究・研修を充実させるための取組
- ②家庭学習充実の取組とその発信
- ③各校の校務分掌を生かした協力体制

推進組織

- 学期に1回の推進会議の実施、取組内容確認協議
- 各校校長、教頭が「学力充実・向上部」「生徒指導部」「児童生徒交流部」の3部会に所属し、各担当コーディネータを中心とした課題の解決に向けた取組の推進

学力充実・向上

- 自主学習ノートの活用及び取組の改善
- 家庭学習の手引きの配布
- 学力実態・分析、家庭学習の充実に向けた取組の点検と実践
- 合同授業研に向けての調整

教職員研修

- 合同研修会
 - ・夏季合同研修会（8月24日）
 - ・合同授業研究会後の事後研
- 合同授業研究会
 - ・西小倉小（10月19日）
- フリー参観
 - ・西小倉中（5月20日）
- 各小中学校授業研究会への教職員の参加

児童・生徒交流

- 職場体験（6月15・16日）
- 小中合同学習会・募金活動
 - ・合同学習会（12月）⇒各校での報告
 - ・募金活動
- あいさつ運動
- 宇治学学習交流（小小連携）
- 地域の行事に中学生が参加
- 児童交流における小小連携

家庭・地域との連携

- 家庭学習の充実に関わる意識アンケートを必要に応じて実施
- 「一貫教育だより」や「学校だより」、またHPによる取組の発信
- 各校の「一貫教育コーナー」（掲示板）を充実
- 3校合同地域懇談会の実施
- 「小中一貫教育推進ニュース」の発行

小中スムーズな接続のために

- 教科連携加配(体育)の中学校教員による小学校6年生の指導
- 小学校高学年における教科担任制授業を推進
- 西小倉中学校体験入学
 - ・6年生の中学校生活体験（授業・部活動体験）
- 小中連絡会（6月17日・3月）

令和3年度 西宇治中学校ブロックジョイントプラン 構想図
ー西宇治中・伊勢田小・神明小ー

教育目標・めざす子ども像

ブロック小中一貫教育目標 N・I・S目標

「自立への学びと社会性の育成を推進し心豊かでたくましい人間を育てる」

めざす子ども像

- 知「展望する力」：・深く考え、よく聴き、意欲的に表明する子
- 徳「つながる力」：・温かい心で助け合う子、節度をもった礼儀ある子、違いを認め合える子
- 体「挑戦する力」：・ねばり強く諦めない子、基本的生活習慣や健康を配慮できる子

本年度の目標・推進の方向性（重点）

主体的・対話的で深い学び、及び進路を見据えた学力向上の取組

(1)「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」に基づいた合同研修会及び学習指導要領実

施のための各教科部会の充実と発展、公開授業研究会の実施

(2) 領域3部会機能の活性化

(3) 小小連携の充実（中学校進学に向け、共通組織による実態改善）

(4) 相互連携授業の充実

中学校ブロックの本年度の取組

☆系統的・継続的な学習指導に関わって

- ・ブロック合同研修会（年間3回）
- ・宇治学の副読本の活用
- ・9年間の学習指導の見える化

☆生徒指導の充実に関わって

- ・生徒指導部会の実施（年間3回）
- ・小中連絡会の実施
- ・家庭学習の充実
- 「学習の手引き」の活用を通して

☆特色ある教育活動の展開に関わって

- ・部活動の交流（駅伝合同練習）
- ・中学体験入学の実施
- ・朝の挨拶運動(毎学期)
- ・入学生対象学習説明会

☆家庭・地域との連携に関わって

- ・広報紙発行
- ・小中一貫教育啓発掲示板の活用
- ・各校HP上の工夫
- ・各地域行事の参加

☆推進体制の充実と改善（ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載）

- ・構築した体制を活用した学力向上への取り組み
- ・小中教育推進に係る中学校ブロック各校内の連絡・調整
- ・小中一貫教育の取組の広報

令和3年度 南宇治中学校ブロックジョイントプラン 構想図
ー南宇治中・西大久保小・平盛小ー

教育目標・めざす子ども像

- ブロック小中一貫教育目標
「夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒の育成」
- めざす子ども像
「夢や希望を持った、未来をたくましく生きぬく子ども」



本年度の目標・推進の方向性（重点）

【目標】

ブロックの小中一貫教育目標達成のために、「学習の土台」と「学習の基盤」の交流を行う。

【推進の概要】

「学習の土台」は、小中一貫部会の「特活部」「生徒指導・教育相談部」「特別支援部」「帰国外国人理解部」の各部会で連携を図り、児童生徒の背景や発達を意識した取組や学習につなげられるようにする。

「学習の基盤」は、小中一貫部会の「授業づくり部」「基礎基本の定着部」「宇治学部」の各部で、授業や自主学習、家庭学習について連携し、学習の系統性・持続性を図る。



中学校ブロックの本年度の取組

☆系統的・継続的な学習指導に関わって

- ①学力分析
- ②授業研究
(事前研修・授業・事後研修)

☆生徒指導の充実に関わって

- ③授業規律
- ④学校生活のきまり

☆特色ある教育活動の展開に関わって

- ①グローバルな感覚
- ②児童会・生徒会合同取組
- ③中学校入学体験

☆家庭・地域との連携に関わって

- ①小中一貫教育だより
- ②自主学習（家庭学習）
- ③学校だより（HP）

☆推進体制の充実と改善（ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載）

○定期的な小学校訪問から

小学校の児童の様子から、中学校の生徒の学習や生徒指導へと生かす。

ホームページを活用し、小中の取組を広報する。



宇治ひろの学園 (広野中学校ブロック)

広野中学校
大久保小学校
大開小学校

＜ 教 育 目 標 ＞ 夢や希望をもって未来を切り拓ける児童生徒の育成
＜めざす児童生徒像＞ 自ら学び考える力 豊かな人間関係を築ける力
健やかな体で粘り強くやり抜く力 自分の生き方を求めていく力

令和2年度の成果

ラーニングコーディネーターが中心となって、下記の取組の企画・調整・運営を行った。

- 『「学びの意欲を高める」ための3校協働研究』
 - ・アンケートの結果分析
 - ・学習意欲向上のための具体的方策を学年単位で検討
 - ・夏季合同研修にて具体的方策についての交流
 - ・各学年単位での取組実施
- 教員間の交流
 - ・コーディネーター会議や各部会の調整・開催
- 児童生徒間の交流
 - ・中学1年生による小学1年生への紙芝居読み聞かせ
 - ・HOT-MEETING(児童会・生徒会合同会議)の開催
 - ・福島ひまわりプロジェクトの実施
- 保護者・地域との交流
 - ・H00P(宇治ひろの学園小中一貫だより)の発行
 - ・学校だよりやホームページへの掲載
 - ・あいさつ運動の3校で同日実施(1回のみ)

令和2年度の課題

- ・担当外の活動目的や内容を共有し、宇治ひろの学園全体としてより組織的に活動できるようにする。
- ・一部の生徒だけの交流に留まらず、宇治ひろの学園全体としての交流が意識できるような取組を充実させる必要がある。

今年度の重点目標

【目標】

「学習意欲」を切り口に学校教育の「児童生徒の学力向上(確かな学力)」への具体的なアプローチを考え、実践する。

- ◎「学びの意欲を高める」ための3校協働研究
 - ・『「学ぶよろこび」を見つけられる学習環境づくり』を3校共通のテーマとして設定し、各学年の実態に合わせた取組を計画し、実践する。
 - ・実践内容と結果をブロックで交流・協議し、学園全体としての意識向上につなげる。
 - ・2学期終わりに学習意欲に関するアンケートを実施し、3カ年計画最終年度として検証を行う。
 - ・ラーニングコーディネーターが中心となって分析と情報発信を行い、活動内容の共有化を図る。
 - ・「新たな学力分析に係る調査研究」(2カ年計画)の実施。

今年度の取組

★教職員が交流・共同研究する取組

- ・「学びの意欲を高める」ための3校協働研究
- ・宇治ひろの学園研究会(5月総会、8月合同研修)
- ・小学校教員による小小交流の充実
- ・生徒指導交流と連携の充実
- ・中学校定期テスト不安軽減の取組 他

★学力充実の取組

- ・板書カード・授業システム・家庭学習の手引き
- ・アンケート調査に基づく学習意欲向上への取組
- ・学力調査結果の分析を通じた学力実態の把握
- ・小学校高学年での「教科担当制」
- ・宇治ひろの学園共通問題(算数)の実施 他

★児童生徒が交流する取組

- ・児童生徒主体のHOT-MEETING(3校合同児童生徒会)運営
- ・HOT-STUDY(中学校新入生半日入学)
- ・中学生による小学生への紙芝居の読み聞かせ
- ・福島ひまわり里親プロジェクトへの参加 他

★保護者・地域と交流する取組

- ・H00P(宇治ひろの学園小中一貫教育だより)の配付
- ・各校の学校だよりでの紹介やホームページの活用
- ・3校巡回作品展示の保護者向け公開
- ・小6の中学校体験学習の保護者参観

令和3年度

東宇治中学校ブロック

(東宇治中・岡屋小・南部小・三室戸小)

ジョイントプラン構想図

本年度の取組

教育目標

「命を輝かす人間」

めざす児童・生徒像

「自ら学び学習する児童・生徒」

「思いやりのある児童・生徒」

「たくましく生きる児童・生徒」

「健康や安全を考える児童・生徒」

本年度の目標・推進の方向性(重点)

- 小中一貫教育実施6年間の成果と課題を踏まえた取組を推進しながら、小中一貫教育の基本である「義務教育9年間で、将来にわたって生きて働く学力や生きる力を身に付けさせるための系統的・統一的な指導を実現する」という視点で、日々の指導の充実を図りながら、取組の点検・評価・改善を進める。
- ブロック校長会議やコーディネーター会議を定期的に開催し、小中一貫教育の方向性を全体に示しながら、具体的な取組を推進する。ラーニングコーディネーターはその調整役を果たし、ブロック児童生徒の学力充実・向上の様々な取組を推進する。
- 本ブロックの児童生徒の実態や教育の方向性・動向を踏まえた取組の工夫・改善を積極的に進める。その取組の一つとして、宇治市の「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」の指標について、ブロックとしての分析を行い、本ブロック児童生徒の課題である「ことばの力」「主体的な学習態度」「対話的な深い学び」の充実と関連させた具体的な取組を推進する。

教職員研修

- 小中合同研修会(5/28・8/24・11/10)
- 小中合同研究授業(11/10 会場:岡屋小)
- 相互授業参観
 - ・小学校から中学校授業参観(5/28)――
 - ・中学校から小学校授業参観(6/22)――
- 教職員広報の発行
- 4校学校便りを教職員へ配布
- 3小合同研修会+合同学年会(8/24)
- 中学1年ふりスタへの小学校教員支援――
- 東宇治中ブロック児童生徒の学力分析

児童・生徒交流

- 小学6年生の中学校体験入学(10/20)
- 児童会・生徒会協同の取組
- 中学生の美術作品巡回展示(2学期)
- 花植ボランティアによるプランター贈呈
- 地域行事での交流

小中スムーズな接続のために

- スクールライフサポートブック配布(小学6年)
- 先スタ(中学入学前の学習)の配付(小学6年)
- 小学6年生の中学校体験入学(10/20)
- 小中連携教員による外国語活動指導(小学6年)
- 東宇治中入学保護者説明会(10/25)
- 小中連絡会(6/22・12月・2月)
- 中学学校便りを小学6年生に配布
- 授業スタンダードの積極的活用
- 定期テスト対策(小学6年)
- 「宇治学」カリキュラムの検討

家庭・地域との連携

- 小中一貫教育便りの発行
- 「家庭学習の手引き」(保存版)の配布
- 小中一貫教育コーナー(掲示板)の設置
- 地域行事への積極的参画

学力の充実・向上

- 児童生徒に「主体的・協働的に学ぶ力」を高め、生きて働く学力、生きる力を身に付けるために
- 授業充実のための相互授業参観・合同研究授業(ことばの力・国語力の向上)・授業スタンダードの活用
- 中1京都府学力診断テストを中心とした学力分析を小・中学校の授業改善に活用
- ふりスタ・先スタ・定期テスト対策(小6)による小中の接続強化
- 家庭学習の手引き・スクールライフサポートブックによる家庭学習習慣・生活習慣の確立
- 各校のアクションプランと連動させた学力の充実・向上の取組の展開

☆「児童生徒学力充実推進部会」を各校の小中一貫教育コーディネーターと学力向上推進委員で組織し、ブロック児童生徒の学力充実・向上に向けたブロックの取組を展開する。ラーニングコーディネーターはその中心となり取組を推進する。

教育目標・めざす子ども像

教育目標 故郷（ふるさと）で夢や希望をはぐくみ、未来を切り拓く児童・生徒
めざす子ども像 ①意欲を持ち、学び続ける児童・生徒（知）
②思いやりにあふれ、ともに伸びる児童・生徒（徳）
③健やかな心と体をもった児童・生徒（体）
④ちがいを認め、命を大切にする児童・生徒（人権）
⑤ふるさとを愛し、つながりを大切にする児童・生徒（地域）

本年度の目標・推進の方向性（重点）

【目標】

・学力向上のための主体的で対話的な授業づくりに結びつく実践的な内容の研修を木幡中ブロック全体で行う。

【推進の方向性（重点）】

- ・3回の小中合同研修会での教科部会と連絡会を通して小中の系統的、継続的な連携を深める。
- ・特別支援教育の視点を生かした生徒指導の研修を継続して行う。
- ・各校のホームページを活用し、児童生徒、保護者、教職員、地域への啓発活動を進める。

中学校ブロックの本年度の取組

★系統的・継続的な学習指導に関わって

- ・主体的で対話的な深い学びのある授業づくり。
- ・中学校英語教員による小学校でのTT授業。
- ・各校の読書活動の交流。
- ・小学校卒業時に「春休みの課題」を配付。
- ・小学校・中学校で「家庭学習の手引き」の配付。

★生徒指導の充実に関わって

- ・小中合同研修会の連絡会（学力充実いしずえ、児童生徒理解、健康安全）を通して児童生徒の共通理解を図る。
- ・小中学校における特別支援教育の視点を大切するため、講演を聞き、生徒指導に活かす。

★特色ある教育活動の展開に関わって

- ・全教職員が8つの教科部会と3つの連絡会に所属し研究課題に取り組む。
- ・小学6年生の半日体験入学。
- ・へき地校を含んだ小小連携の取組。
- ・美術部による小学校作品展への展示発表。

★家庭・地域との連携に関わって

- ・おもろいやんか木幡への参加。
- ・ホームページに小中一貫教育の取組をアップし、取組の啓発を図る。
- ・各校の学校だよりの校内掲示。
- ・新入生保護者説明会の実施。
- ・小学校の懇談会で、「中学校における進路指導」の説明会を実施。

★推進体制の充実と改替（ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載）

- ・ラーニングコーディネーターを中心に、「やましろ授業スタンダード」や「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」を活用した、主体的で対話的な授業づくりを木幡中ブロック全体で取り組む。年間3回の小中合同研修会を通して、小中学校の系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実を図る。
- ・ラーニングコーディネーターが各小学校を定期的に訪問し、交流活動を行う。
- ・各学校のコーディネーター間での連携を密にとり、各校の状況を共有する。

令和3年度 黄檗中学校ブロックジョイントプラン 構想図 ー黄檗中・宇治小ー
教育目標・めざす子ども像

たかく すずしく たくましく ①高い志を持って、学びの道を究める人(質の高い学力)
 ②さわやかな心、優しい心を持った人(豊かな人間性・社会性)
 ③強い志を持って、人生を切り開く人(意欲や情熱・健康な体)

本年度の目標・推進の方向性(重点)

主体的・対話的で深い学びによる質の高い学力の育成

～正解のない問いを主体的・協働的に追求しようとする児童生徒の育成～

- ・教科等横断的な課題解決型学習による論理的思考力の育成
- ・基礎基本の定着や指導と評価の一体化による確かな学力の向上
- ・あたたかい人間関係の形成による学級集団づくり

中学校ブロックの本年度の取組

☆系統的・継続的な学習指導に関わって

- ・全ての教科を通じて「主体的・対話的で深い学び」を大切にする授業づくりを進める。
- ・認知能力と非認知能力を一体的に育成するため、総合的な学習の時間をはじめ、全ての教育活動を通して正解がひとつでない問いを主体的・協働的に探求する活動を行う。(中:「未来の担い手育成プログラム」小:「絆の作り手育成プログラム」)

☆特色ある教育活動の展開に関わって

- ・小中学校教員の連携による9年間の系統性を重視した学習指導を推進する。
- ・小学校高学年教科担任制の導入と、小中学校教員による相互連携授業を行う。
- ・「家庭学習の手引き」などを活用し、学習意欲の向上と学習習慣の確立を図る。
- ・学園会を組織し、学級活動と学校行事を通して、他者と協働する様々な集団活動を行う上で必要となる行動を身に付け、集団生活上の課題を解決する姿勢を養う。
- ・共に学び、活動できる児童生徒の育成を目指した、異年齢集団活動を充実させる。

☆生徒指導の充実に関わって

- ・生徒指導主任、学年主任を中心に、9年間の継続的な生徒指導を進める。
- ・児童生徒の課題を小中で共有し、解決に向けて一致した指導を行う。
- ・日常的な取組や声掛け、指導を通し、規範意識の確立と自尊感情を育む。

☆家庭・地域との連携に関わって

- ・コミュニティスクールと地域学校協働活動を一体的に推進する。
- ・「学園だより」「きずな」の配布や正門前への掲示と、「ホームページ」のこまめな更新により、学園の取組の家庭や地域の方へ積極的に広報する。
- ・家庭や地域の願いや意見を生かした学校運営を進めるため、保護者アンケートや学校運営協議会の熟議を反映した学校評価を行う。
- ・保護者に向けた進路説明会を開催する。

☆推進体制の充実と改善(ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載)

- ・小中併せて一つの組織と考えるが、必要に応じて形態を変えて会議・研修会を実施する。
- ・教職員の情報共有と意思統一を図り、共通認識のもと児童生徒の指導にあたる。
- ・基礎学力定着に向けた学力の分析を行い、指導方法の確立を図る。
- ・指導と評価の一体化の推進を図る。